

1 単元名 「アメージングガイドブック」を作ろう

2 単元の目標

- 自分が調べた世界の学校についての情報と日本の学校の情報との関係について理解できる。(知識及び技能)
- 「アメージングガイドブック」に必要なものを調べたり、図を入れたりして表現できる。  
(思考力・判断力・表現力等)
- 「アメージングガイドブック」作りを通して、自己の学習を振り返りながら、世界の学校について伝えようとしている。  
(学びに向かう力・人間性等)

3 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・考えとそれを支える理由や事例、全体の中心など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア	・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 B 課材の設定 情報の収集 内容の検討 ア	・「ガイドブック」作りを通して、自己の学習を振り返りながら、世界の学校について伝えようとしている。

4 単元について

(1) 主となる言語活動と扱う教材

本単元は、新学習指導要領の全面実施に向けて「アメージングガイドブック」を作るという言語活動を通して、新学習指導要領「B 書くこと」の「課材の設定 情報の収集 内容の検討 ア相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。」の資質・能力の育成をめざす。

本単元は、日本の学校と比較しながら世界の学校について調べ、調べた国の学校ならではの物や独特な制度について図や写真を用いてガイドブックにまとめ、相手にわかりやすく伝える学習である。総合的な学習の時間と連携して、神田外語大学の留学生に紹介するために、一人一人が作ったページを合わせてガイドブックを作るという相手意識、目的意識を持たせることで、一人一人が意欲的に活動できると考えた。児童は総合的な学習の時間で国際理解について学習するため、世界の国について調べる導入として、自分たちに身近な学校に限定して調べることにした。学校と限定することで、調べ学習に苦手意識を持っている児童も取り組むことができるのではないかと考えた。また「アメージングガイドブック」は、自分が意外だと思った世界の学校の物や制度を取り上げて作っていく。「意外だ」という言葉に着目することで、児童は調べた情報の精選がしやすいと考えた。この「アメージングガイドブック」は、調べた児童が意外だと感じた世界の学校の物や制度について書くことで、調べた児童にとっても意外であり、留学生が読んだときも「これって日本の子供たちにとって意外なんだ」というように双方が「意外だ」と思えるガイドブックにしていきたい。留学生が自国の学校制度の意外性に気付ける良い機会にもなると考える。

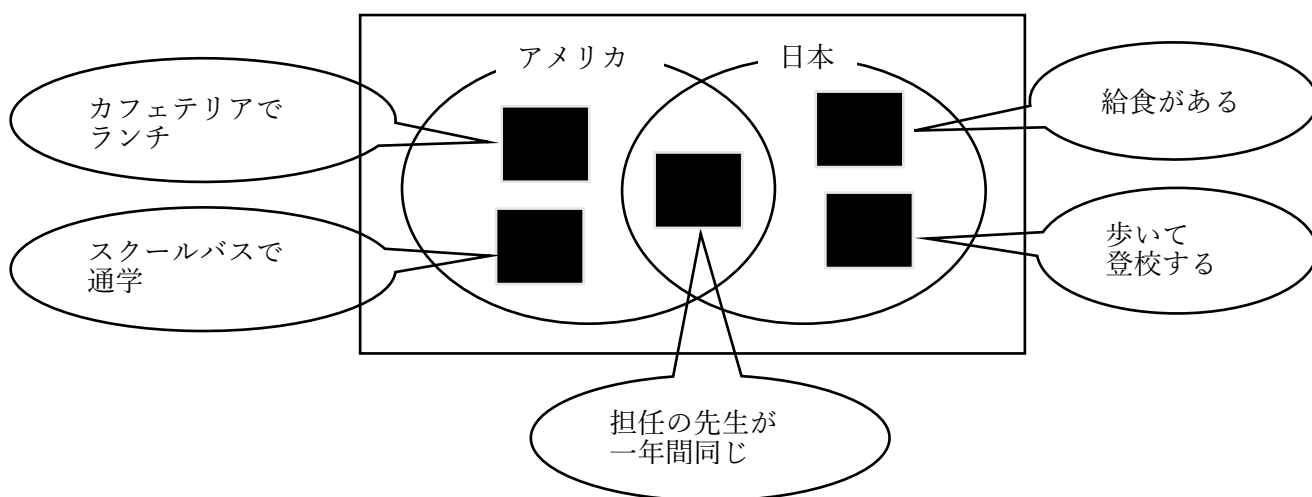
児童は三年生の「生き物のとくちょうをくらべて書こう」で、図と言葉を結びつけて説明する学習を行っている。本単元では図や写真などの資料を活用しながら、限られた紙面の中に情報をガイドブックとしてま

とめていく。紙面が限られているため、児童が調べていく中で得た情報の中から、どの情報をガイドブックに入れていくか吟味させる必要がある。情報を整理してまとめるだけでなく、得た情報の必要性を吟味して活用できるようにしたい。そこで、どのような情報を入れて書くのか吟味するために、調べた情報は付箋に書いておく。「アメージングガイドブック」を作る前に付箋の移動をする時間を設け、ガイドブックに書くことと書かないことを明確に分けられるようにする。分ける際にはペン図を利用し、情報の精選をする。得た情報の中でも、自分が最も伝えたい題材を明確にしてガイドブックを書いていく姿を期待したい。

## (2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元は、新学習指導要領「B 書くこと」の「課材の設定 情報の収集 内容の検討 ア相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。」を受けて設定している。現代では、インターネット等を使うことで、知りたい情報について容易に調べられる環境にあるが、一方で表示される情報が多すぎるという現状もある。何について書いているか相手に伝わるようにするために、紙面の中に入れるべき情報を吟味して、情報を活用できる力を育てたい。

そこで本単元では「アメージングガイドブック」を作るという活動を行う。総合的な学習の時間を使って世界の学校について調べたことを基に限られた紙面にまとめるために、得た情報を吟味し、情報を活用する力を育てる。調べたことを書き連ねるのではなく、得た情報から何について書くのかを吟味する。自分が何について書いているのか読み手に伝わるように、書くことを明確にしてから書き進めるようにする。そのために付箋とペン図を用いて集めた情報を分類していく。自分が調べた外国の学校のことは、赤い付箋に情報をまとめていき、一つの付箋には一つの内容を書いていくようにする。いろいろな情報を得た状態でペン図を活用し、調べた国にしかない学校の物や制度、日本と調べた国に共通することの2つに分類するために付箋の操作を行う。さらに調べた国にしかない学校や物の制度が、日本ではどうなのかを青い付箋に書き、日本の枠に貼り付ける。このようにすることで、得た情報が調べた国独自のものなのか、共通しているのかを可視化でき、さらに一目で日本の学校の物や制度と比較できると考えた。



完成したペン図を用いて、世界の学校と日本の学校を比較しながら、自分たちにとって「意外である」「これは驚く」という視点で世界の学校について考えていく。この考えていく過程の中で、ペン図をもとに情報を比較することで、自分の伝えたいことが明確になると考える。調べた国の情報の中から自分が書きたいことを一つ選び、その赤い付箋と対になる日本の情報の青い付箋も選ぶ。青い付箋も選ぶのは、日本と比較させながらガイドブックを書くことで、留学生がより意外だと感じられるようにするためである。自分の手元に赤い付箋と青い付箋が一枚ずつ用意され、自分の書くことが決定する。ペン図を見ながら同じ国を調べた



5 指導計画（全7時間）

次	時	学習活動	指導や支援の手立て◇評価（評価方法）
一	1	○学習内容と目的を知る。 ○学習計画を立てる。	・神田外語大学の職員からの手紙を読み、ガイドブックを作成するという見通しを持つ。 ・児童の気付きを基に、学習計画を立てる。
時間外	総合的な学習の時間	○世界の学校について調べる。 ○調べた内容を共有する。	・付箋を使って、調べたことを短くまとめて書かせる。 ・予めインターネットサイトや本を用意する。
二	2 (本時)	○ガイドブックに載せる内容を吟味する。 ○決定した内容をもとに、さらに調べることについて考える。	テーマに沿って紹介文を書く活動 ・教師のモデルを見せながら、情報を精選していく過程を児童にイメージさせる。 ・付箋を移動させながら、ガイドブックに書く内容を明確にできるようにする。 ◇集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(ワークシート) ・本やインターネットを使って、紹介する内容についてさらに詳しく調べさせる。 ・ガイドブックのモデルを掲示して、作品を児童にイメージさせる。 ・ガイドブック1ページ分の構成を提示し、見通しを持たせる。 ・ガイドブックのモデルを提示して、作品の全体像の見通しを持たせる。 ・自分が伝えたいことを明確にして書くように助言する。 ・下書きを友達同士で読ませ、伝えたいことが明確か確認できるようにさせる。 ◇伝えたいことを明確にして紹介文を書いている。(ワークシート)
	3	○決定した内容をもとに、さらに調べたいことについて調べる。	
	4	○ガイドブックの書き方について学習する。	
	5 6	○ガイドブックの下書きをする。 ○下書きの原稿を友達同士で交換して読み合う。 ○下書き原稿を用紙に清書する。	
	7	○完成したページを全体で読み合う。 ○表紙や目次を付けて「イメージングガイドブック」を完成させる。	
三			・読んだページの内容について、全体で確認させ、自分たちが作成したガイドブックの全体像を共有できるようにする。 ・「初めに」と「終わりに」に盛り込む内容について、全体で話し合わせ、代表者が清書できるようにする。

6 児童の実態 省略

7 本時の目標と展開 (2/7)

(1) 本時の目標

○集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。

(思考力・判断力・表現力等)

○自己の学習を振り返りながら、世界の学校について伝えようとしている。

(学びに向かう力・人間性等)

(2) 展開

学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
<p>1 テーマに沿って短い紹介文を書く。</p> <p>2 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>・書き始められない児童には、テーマについてのイメージを話させ、教師が助言する。</p> <p>・学習計画表を確認させ、調べた情報の中からガイドブックに書く内容を吟味する時間であることを全体で確認する。</p>
<p>調べた情報の中から、ガイドブックに書く内容を選び出そう。</p>	
<p>3 教師のモデルを基に、選ぶ情報のポイントを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;ガイドブックポイント&gt;</p> <p>①調べていて自分がびっくりしたもの！</p> <p>②これはぜひ紹介したいと思うもの！</p> <p>③日本の学校と大きくちがうところ！</p> </div> <p>4 調べた国ごとの班で話し合い、調べた国の学校の情報について付箋を移動させながら、自分がガイドブックに書く内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ</li> <li>・中国</li> <li>・ロシア</li> <li>・フランス</li> <li>・エジプト</li> </ul> <p>5 自分が選んだ題材で、さらに知りたいことや調べたいことについて書く。</p> <p>○アメリカのランチについて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が食べたいものをたくさん食べていいのか。</li> <li>・きれいなものは食べなくてもいいのか。</li> <li>・フォークとナイフを使うのか。</li> <li>・お金ははらうのか。</li> </ul> </div>	<p>・教師は、児童が調べている国以外の国であるフィンランドの学校について調べ、日本の学校と比較する。</p> <p>・教師が調べたことを掲示用の付箋に書いてモデルを掲示しておく。</p> <p>・ベン図を用いて、フィンランドのもの、日本とフィンランドに共通するもの、日本のものに分けて、情報の関係性を可視化できるようにする。</p> <p>・教師が実際に付箋を操作し、情報を選ぶ様子を児童に見せ、活動のイメージを持たせる。</p> <p>・世界の学校の情報を基に、日本の学校について青い付箋に書き足してベン図に加えていくよう声をかける。</p> <p>・世界の学校についての赤い付箋を一つ選んで、それについてガイドブックに書くことを伝える。</p> <p>◇集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(ワークシート)</p> <p>・グループの中で知りたいことを話し合いながら書いてよいことを伝え、いろいろな観点から情報が出せるようにする。</p> <p>・手が止まっている児童には、日本と比較しながら考えるよう助言する。</p> <p>・知りたいことをワークシートに書き、調べたい項目を短く簡潔に書くよう伝える。</p>

<p>6 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本の学校と比べたことで、アメリカの学校の意外なところを発見して書く内容を決めることができました。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分なりに選んだ題材についてガイドブックポイントに沿って振り返りをさせる。</li></ul> <p>◇自己の学習を振り返りながら、世界の学校について伝えようとしている。(発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次回は決定した内容をもとに、さらに調べたいことについて調べていくことを確認する。</li></ul>
---	---